

奈良県指定文化財(彫刻・建造物)の「災害対策等現況調査」調査票

調査日	2017年	11月	27日	記入者	亀田幸英
調査者名	小倉	亀田	鈴木	関	橋詰

調査対象先	霊山寺(りょうせんじ)・(霊山寺真言宗)				
所在地	奈良市中町3879			電話番号	0742-45-0081
代表者 調査対応者	執事・川崎雅一郎氏				
対象文化財	彫刻	県指定:	1件	国宝:	件
	建造物	県指定:	件 棟	国宝:	1件 1棟
				重文:	7件
				重文:	2件 2棟

地震対策

①対策の現況	<input type="radio"/> A:実施済 <input type="radio"/> B:一部実施済 <input checked="" type="radio"/> C:未実施	
② ①の回答が A、Bの場合	対策の経緯、 内容	
	今後の予定	
	要望	
③ ①の回答が Cの場合	実施して いない理由	<input type="checkbox"/> 対策の必要がない <input type="checkbox"/> 資金が足りない <input checked="" type="checkbox"/> その他(地震対策は特に行っていない。本堂(国宝)及び境内の地下は硬い岩盤になっている)
	今後の予定	特になし。
	要望	特になし。

防火対策

①対策の現況	<input checked="" type="radio"/> A:実施済 <input type="radio"/> B:一部実施済 <input type="radio"/> C:未実施	
② ①の回答が A、Bの場合	対策の経緯、 内容	・本堂(国宝)と三重塔(重文)を対象に自動放水銃(各4本・3本)と貯水槽が29年3月完成。・火災報知器はセコム経由で消防署にリアルタイムで連絡可能。・避雷針は4か所(本堂、三重塔、庫裡、霊園)に設置。
	今後の予定	特になし。
	要望	特になし。
③ ①の回答が Cの場合	実施して いない理由	<input type="checkbox"/> 対策の必要がない <input type="checkbox"/> 資金が足りない <input type="checkbox"/> その他()
	今後の予定	
	要望	

奈良県指定文化財(彫刻・建造物)の「災害対策等現況調査」調査票

調査対象先

霊山寺(りょうせんじ)・(霊山寺真言宗)

獣害・白アリ等の対策

① 獣害等被害	<input checked="" type="radio"/> A: 経験あり	<input type="radio"/> B: 経験なし
② ①の回答が Aの場合	どのような被害か	猪の対策(猟友会に依頼)、ハクビシンやアライグマは自前で捕獲檻を設置。白アリは定期的に駆除。森林の樹枯れ対策は28年6月から木の抵抗力を強める方法(カシナガトラップでカシノナガキクイムシを誘引駆除)で実験的に実施。
③ 今後	今後の予定、要望	樹枯れ対策は着実に成果が出ているので、今後も積極対応予定。

本堂(国宝)そばの自動放水銃(4か所のうち1つ)



本堂から少し離れた防火水槽(地下)とポンプ室



三重塔(重文)と自動放水銃(中央奥)



樹枯れ対策のカシナガトラップ



【調査票記入者(亀田幸英)の感想】

県指定文化財の木造四天王立像は三重塔(重文)内に安置。境内の地下は硬い岩盤に付地震対策は特になし。防火対策は自動放水銃を備えレベルが高い。樹枯れ対策としてカシナガトラップを使用して成果が出ている。